

あおいち開催

小雨
決行

平成28年 6月 12日(日) 10:00～12:00

場所： 青谷ようこそ館前広場

全国レトルトカレー大集合！！



鳥取のピンクカレーを初め、全国のレトルトカレーが集合しました。レトルトカレーで全国めぐりをしてみませんか。

くまモングッズを購入して熊本を応援しよう！！

くまモングッズの販売収益金を熊本震災の義援金として寄付します。

10:00～

鳥取環境大学生 ライブ&ワークショップ

大学生が企画するイベントです！！みんなと一緒に盛り上がる音楽ライブと世界に一つのオリジナルフォトフレーム作りで素敵な思い出をつくりましょ♪

10:00
～12:00



動物 ふれあい体験

鳥取市公園・スポーツ施設協会の協力で、ウサギ、モルモットが登場。

11:30～



古代米の お餅無料配布

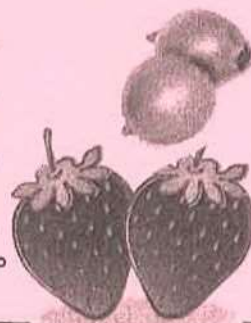
古代米のお餅を無料配布します。つきたてのお餅をきな粉餅で味わってください。(先着60名)

くじ引き開催！

小学生以下のお友だちだけ参加できます。くじ引き券は、「動物ふれあい体験コーナー」と「鳥取環境大学生ワークショップコーナー」で配布します。(先着50名)

空くじなしの抽選会開催！

あおいちで楽しまれた後、抽選会で運試し。地元産のイチゴや新玉ねぎなどを景品に準備しています。豪華とまではいきませんが、ちょっぴりお得な気持ちになれるはず。抽選券は、各バザー店で配布しています。(先着200名)



出店団体及び協力団体：

青谷ようこそ館、かちべ伝承館、のぞみハウス、JA鳥取いなば農協、愛ファクトリー、澄水シイタケ生産組合、かどっこ、田中農園、鳥取市西商工会青年部、トレップ、まめな会、ふくし作業所、料理彩園グループ、良ちゃんの手びねり、瑞穂ハート村、えり工房、加納商店、crescent.moon、鳥取市公園・スポーツ施設協会、公立鳥取環境大学(順不同)

あおいちギャラリー：6月1日(火)～7月12日(火)

青谷町総合支所「AOYA Branch」に宮本栄一さんの似顔絵作品を展示しています。モデルを当てて賞品をゲットしよう！！応募用紙及び応募箱は、青谷町総合支所にあります。

◆主催：青谷地域にぎわい創出実行委員会 ◆お問い合わせ：0857-85-0011

グループホーム(共同生活援助事業)の設立について

『障がいのある人が、地域で仕事をしながら自立した生活を送るために』

■ 地域と共に暮らす

地域の人と交流し共に暮らすことができる。

地域にある障がい者福祉サービスの就労支援事業所で働くことができる。

■ 仲間と共に暮らす

共有のキッチンやリビングで仲間と共に安心して暮らすことができる。

仲間とおしゃべりをしながらコミュニケーションを楽しむ。

■ 一人ひとりを大切にする

部屋はそれぞれに個室です。

プライバシーは守ります。

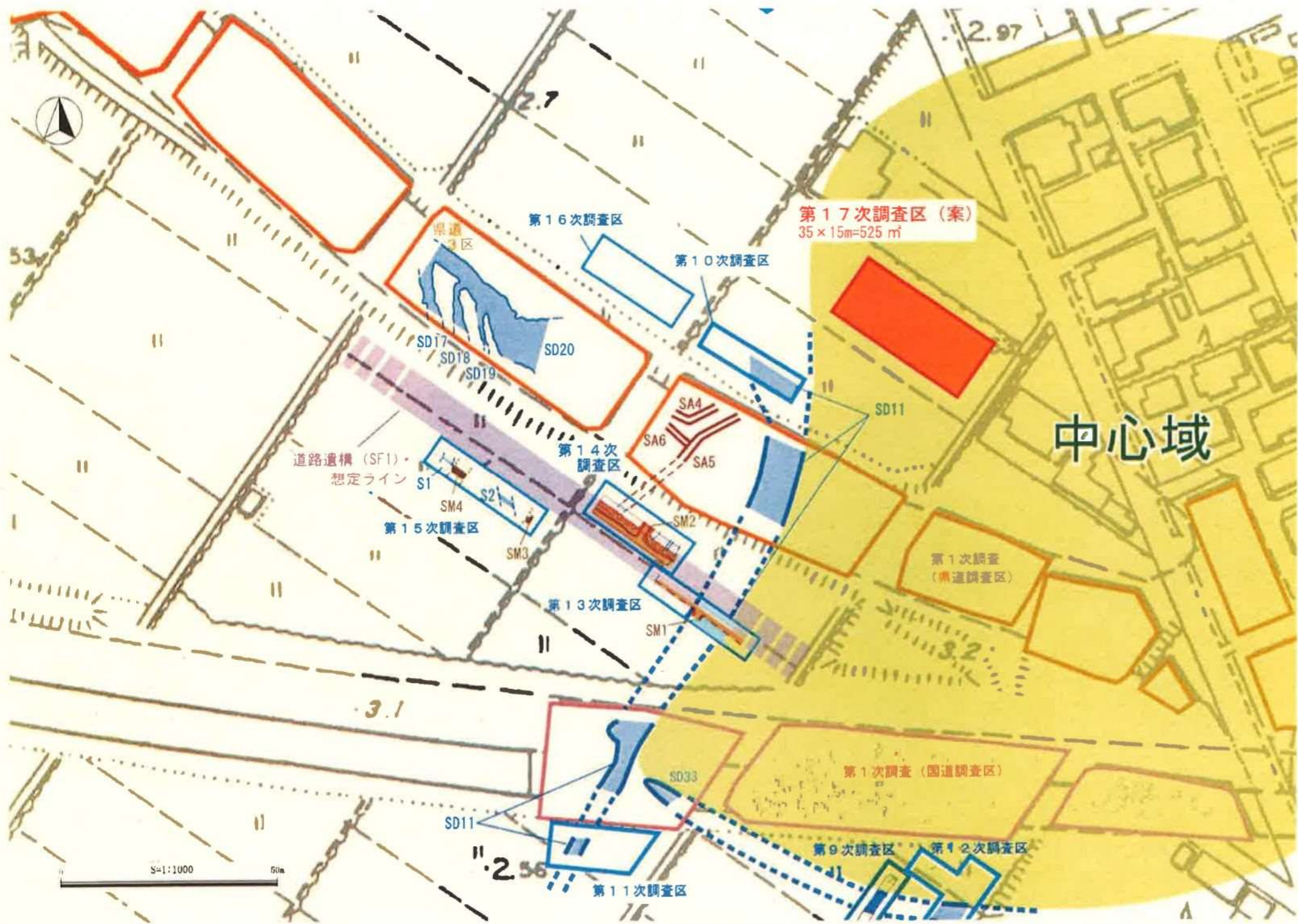
スタッフは入居された方の希望を聞き、計画を立てて生活を支えます。

障がいの程度に応じて夜間の支援体制を置きます。

○ 障害者総合支援法のもと設立の基準がある。

○ 社会福祉施設等施設整備費国庫補助金が受けられる。

※ 地域の中で健常者と障がいのある人が共に安心して生活ができる社会にする。



青谷上寺地遺跡に関連する業務等について

平成 28 年 5 月 27 日
鳥取県埋蔵文化財センター

1 青谷上寺地遺跡史跡整備事業

- ・とっとり弥生の王国調査整備活用委員会の設置

〈委員長〉 調査研究部会座長（調査研究部会妻木晩田担当座長）	
〈副委員長〉 調査研究部会青谷上寺地担当座長、整備活用部会座長	
調査研究部会	
妻木晩田担当	青谷上寺地担当
（妻木晩田・青谷上寺地共通）	
5名：考古学や保存科学などの 専門家	5名：考古学や保存科学などの 専門家
5名：考古学や史跡整備の専門 家、文化関係者	
2名：公募	

- ・今年度9月に第1回目の委員会・部会を開催予定
- ・平成28～30年度に整備基本計画・設計業務を実施

2 青谷上寺地遺跡発掘調査事業（第17次調査）

史跡としての整備活用に必要なデータを収集する発掘調査を実施。

- ・調査課題：遺跡中心域内部における集落機能の確認、西側区画溝の構造解明
- ・調査面積：525 m² (35m×15m)
- ・調査開始：7～8月頃の予定

3 とっとり弥生の王国シンポジウム

- ・日 程（予定） 3月18日（土） *変更の可能性もあり
- ・会 場 県民ふれあい会館ホール（500人）
- ・内 容 青谷上寺地遺跡・環境・人・暮らしをイメージできるテーマで企画を検討中

4 日本動物考古学会の開催

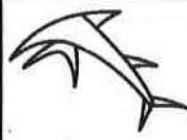
多目的ホールを会場に開催。鳥取県埋蔵文化財センター共催。

- ・日程：6月18日（土）午後～6月19日（日）午前…研究発表等
6月19日（日）午後…青谷上寺地遺跡展示館、青谷調査室の見学
- ・参加予定者数：50名（9割は県外からの研究者）

5 出土資料の貸出展示

- ・大阪府立弥生文化博物館 春季特別展「鉄の弥生時代」（平成28年4月23日～6月19日）
- ・岡山県立博物館 岡山・鳥取文化交流事業「とっとり弥生の王国」展（平成29年1月19日～2月26日）

6 体制の拡充について



平成28年度 とっとり弥生の王国

青谷かみじち遺跡土曜講座

開講のお知らせ



鳥取県埋蔵文化財センターでは、発掘調査や研究の成果をもとに国史跡青谷上寺地遺跡の魅力を紹介する土曜講座を毎年開講しています。

今年度の土曜講座は、むきばんだ史跡公園とともに、弥生時代のことを楽しく学べる5つの講座をご用意しました。青谷の地から弥生文化の最新情報を発信していきます！

詳しい内容はその都度、埋蔵文化財センターホームページやチラシ等でお知らせしますので、ふるってご参加ください。

1 講座の内容・日時・講師

	日程	講座タイトル	講師
第1回 (通算第42回)	平成28年 5月28日(土) 13:30～15:00	〈トークセッション〉 青谷上寺地遺跡、現る！ ～遺跡発見よもやま話～	北浦 弘人 (県埋蔵文化財センター) 高尾 浩司 (むきばんだ史跡公園) 進行：君嶋俊行 (県埋蔵文化財センター)
第2回 (通算第43回)	平成28年 7月23日(土) 13:30～15:00	〈やよい最新レポート〉 小さな ^{×2} 穴から探る 弥生時代の始まり	濱田 竜彦 (県埋蔵文化財センター)
第3回 (通算第44回)	平成28年 9月10日(土) 13:30～15:30	〈講演会&トークセッション〉 山陰海岸ジオパークと 青谷上寺地遺跡	島根大学名誉教授 高安 克己 氏 (元青谷上寺地遺跡発掘調査委員)
第4回 (通算第45回)	平成28年 11月12日(土) 10:00～11:30	〈平成28年度の発掘調査成果〉 第17次調査の最新速報 【午後は現地説明会を開催】	大川 泰広 (県埋蔵文化財センター)
第5回 (通算第46回)	平成29年 1月21日(土) 13:30～15:00	〈トークセッション〉 海の村ー青谷上寺地遺跡、 山の村ー妻木晩田遺跡	君嶋 俊行 (県埋蔵文化財センター) 長尾 かおり (むきばんだ史跡公園) 進行：濱田竜彦 (県埋蔵文化財センター)

開場は講座開始の30分前 ※講座内容は変更する場合があります。

2 会場

鳥取市青谷町総合支所 2階 多目的ホール (全5回とも)

3 定員

各回120名 (事前申込が必要です。参加費無料) ※席に余裕がある場合は当日参加も可能です。

4 申込方法

下記問合せ先まで、電話・ファクシミリ・電子メールでお申し込みください。なお、ファクシミリもしくは電子メールでお申し込みの方は、名前・電話番号を明記してください。受付のお知らせを返信します。※講座申込に必要な個人情報は、本目的以外には利用しません。

5 問合せ先

鳥取県埋蔵文化財センター 青谷調査室
〒689-0592 鳥取市青谷町青谷 667 (鳥取市青谷町総合支所 2階)
電話 (0857) 85-5011 ファクシミリ (0857) 85-5012
電子メール maibuncenter@pref.tottori.jp
ホームページ <http://www.pref.tottori.lg.jp/maibun/>

青谷かみじち遺跡土曜講座 第1回 (5月28日)

〈トークセッション〉 青谷上寺地遺跡、現る！

～遺跡発見よもやま話～

「地下の弥生博物館」とも呼ばれる青谷上寺地遺跡。この遺跡が弥生時代のようすを現代に生々しく伝える、タイムカプセルのような遺跡であるとわかったのは、今から18年前(平成10年)の発掘調査のことでした。当時発掘に携わった調査員たちにとっては、それまで目にしたことのない出土品の数々が連日掘り出されることに衝撃を受けるとともに、経験したことのない複雑で困難な発掘調査に日々頭を悩ませ、それぞれの考古学人生の中でも忘れることのできない貴重な経験となりました。

そうした怒濤の日々を当時の発掘担当者が振り返り、現在の発掘担当者とのトークセッションによって、遺跡発見にまつわるあんな話、こんな話をみなさんにご披露します。



〈掘り出された木器溜り〉

この下の層から弥生人の脳や殺傷痕のある多数の人骨が発見されました。

〈土曜講座会場案内図〉



青谷調査室 収蔵展示室の御案内

国史跡青谷上寺地遺跡の出土品を300点ほど収蔵展示しています。選りすぐりの出土品を収蔵棚に配架した状態で公開していますので、間近で御覧いただけます。ぜひ御来館いただき青谷上寺地遺跡のすばらしさを感じてください。

- ◎場 所 鳥取市青谷町総合支所2階(鳥取県埋蔵文化財センター青谷調査室)
- ◎開館日 平日 ◎開館時間 午前9時～午後5時(受付は午後4時まで)
- ◎入館料 無料 ◎展示解説 専門職員が解説いたします。

【問合せ先】 青谷調査室 電話番号(0857)85-5011

とっとり弥生の王国調査整備活用委員会の委員を募集します。

鳥取県教育委員会では「とっとり弥生の王国調査整備活用委員会」を設置して、青谷上寺地遺跡及び妻木晩田遺跡の調査研究及び整備活用について意見をきくこととしています。

このたび、その委員会の委員となっただけの方を募集します。

- 1 募集人数 2名
- 2 任期 平成28年7月20日から平成30年7月19日まで
- 3 開催回数 年2回程度
- 4 委員報酬等 報酬（日額9,000円）と委員会出席のための旅費（実費）を支給
- 5 応募資格 平成28年7月20日時点で次のいずれの要件も満たしている方
 - (1) 県内に在住する満18歳以上の方（未成年の場合は、保護者等の同意がある方に限ります。）
 - (2) 県の他の附属機関の委員に就任しておらず、就任の予定もない方
 - (3) 県内で平日昼間に開催する委員会に、通常出席することができる方
 - (4) 鳥取県暴力団排除条例に規定する暴力団員等でない方
 - (5) 県議会議員でなく、県職員でもない方
 - (6) 史跡などの整備・活用に関心があり、このことに積極的な提言をする意欲がある方

6 応募方法

(1) 提出書類の入手方法

鳥取県庁県民課、東部庁舎、八頭庁舎、中部総合事務所地域振興局、西部総合事務所地域振興局、西部総合事務所日野振興センター、県立図書館、鳥取県埋蔵文化財センター、むきばんだ史跡公園及び各市町村教育委員会に応募書類が置いてあります。

また、次のホームページからダウンロードすることもできます。

- ・鳥取県教育委員会事務局文化財課 URL: <http://www.pref.tottori.lg.jp/bunkazai/>
- ・鳥取県埋蔵文化財センター URL: <http://www.pref.tottori.lg.jp/maibun/>
- ・むきばんだ史跡公園 URL: <http://www.pref.tottori.lg.jp/mukibanda/>

(2) 提出方法

応募書類に作文（※）を添えて、郵送、ファクシミリ、電子メール、持参のいずれかの方法で提出してください。

※作文は「県民に親しまれる史跡整備・活用について提案したいこと」を800字程度にまとめ、題名をつけたものとします。

7 募集期間

平成28年5月31日（火）から平成28年6月27日（月）まで（期間内必着）

8 委員の選考

- (1) 1次審査 応募書類を審査します。
- (2) 2次審査 1次審査で選考された方に面接を行い決定します。
 - ※2次審査は、平成28年7月14日（木）に実施する予定です。
 - ※選考結果については、応募された方全員に郵送等によりお知らせします。

9 その他

- ・応募に際して提出された書類は公募委員の選考及びその連絡にのみ利用し、他の目的では利用しません。また、応募書類は選考完了後も返却しません。
- ・原則として、委員会は公開で開催しますので、その議事録や提出資料は全て公開します。

10 書類の提出・問合せ先

鳥取県教育委員会事務局 文化財課

所在地 〒680-8570 鳥取県鳥取市東町1丁目271

電話 0857-26-7524

ファクシミリ 0857-26-8128


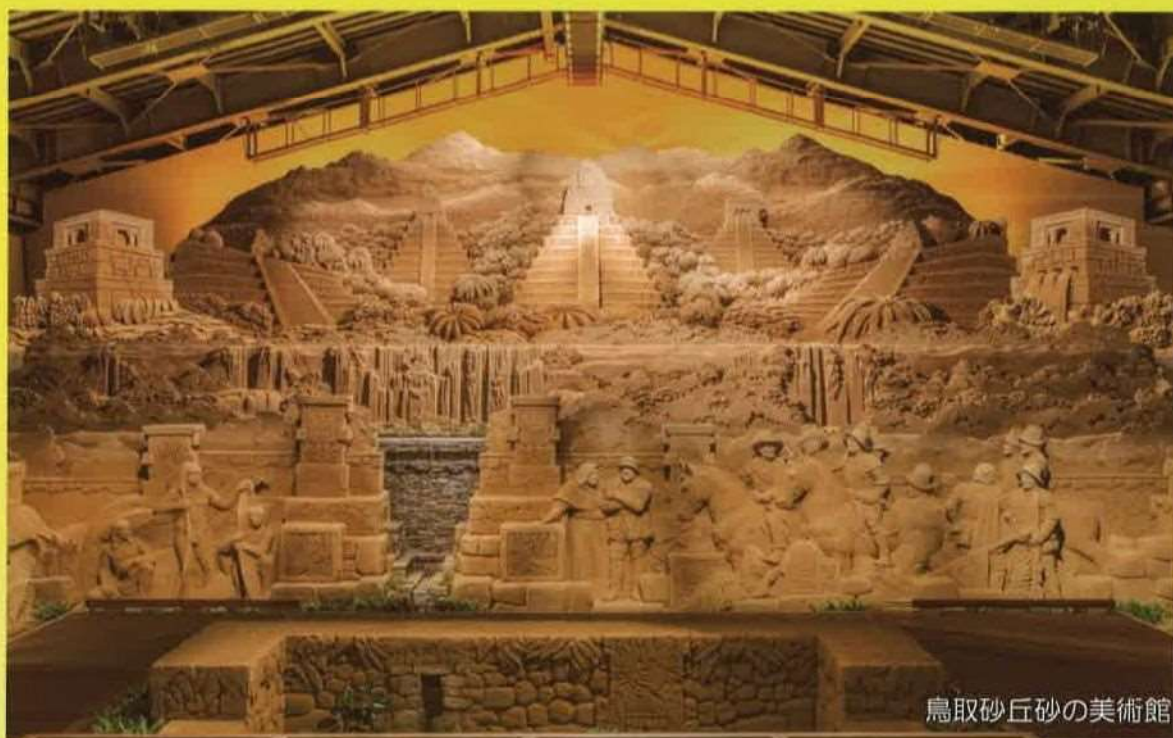
電子メール kyouikubunka@pref.tottori.jp



鳥取市を飛躍させる、発展させる


第10次鳥取市総合計画 概要版

『いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる、
自信と誇り・夢と希望に満ちた鳥取市』をめざして



平成28年4月

鳥 取 市



まちづくりの理念

鳥取市を飛躍させる、発展させる

めざす将来像

いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる、
自信と誇り・夢と希望に満ちた鳥取市

計画策定の趣旨

この計画は、地方創生の時代、平成30年4月の中核市移行を見据え、本市がめざす将来像の実現のため、長期展望に立ち、「どのような取組をするのか」を具体的に示すものです。

計画の構成と期間

☆基本構想・・計画期間：平成28年度～37年度（10年間）

めざす将来像とその実現に向けた「まちづくりの目標」を明らかにします。

主な指標として人口と財政の長期的な見通しを示します。

☆基本計画・・計画期間：平成28年度～32年度（5年間）

基本構想を推進するために取り組む主要施策を明らかにします。

なお、まち・ひと・しごと創生法に基づき平成27年9月に策定した「鳥取市創生総合戦略」は総合計画の「重点施策」として位置づけます。

☆実施計画・・計画期間：前期（平成28年度～30年度）後期（平成30年度～32年度）

具体的な事業の内容を明らかにします。また後期計画は、前期計画の成果を踏まえて策定します。

計画の進行管理



長期的な展望

☆人口の見通し

日本の人口が、平成22年をピークに減少傾向に転じる中、本市の人口もまた、少子化や生産年齢人口（15歳～64歳）の転出超過等から平成17年をピークに減少傾向となり、今後も引き続き緩やかに減少していくものと予測されます。

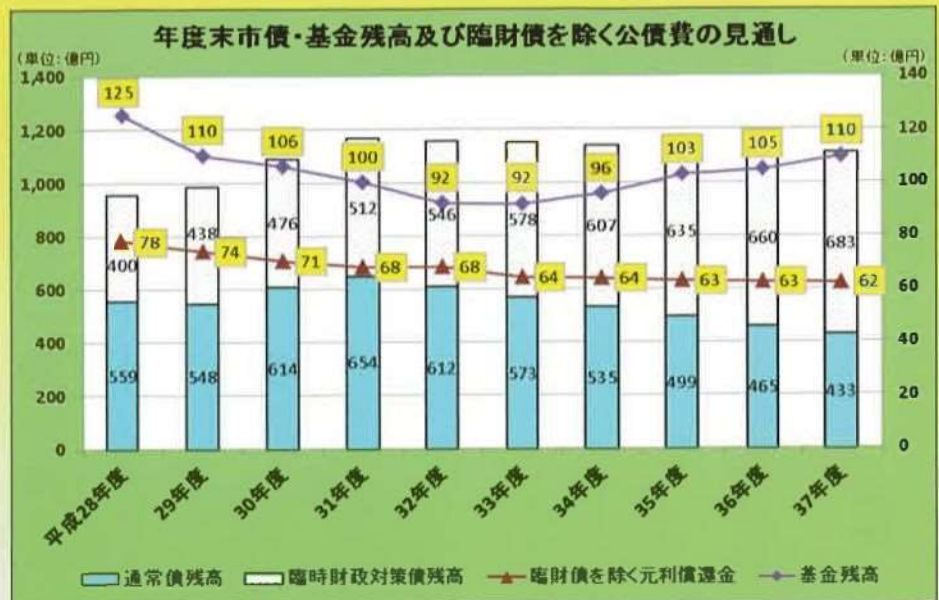
※資料：国勢調査、鳥取市人口ビジョン



☆財政の見通し

人口減少等に伴う税収入等の減少や高齢化の進展に伴う社会保障関連経費の増大等を背景に、厳しい財政運営が見込まれますが、施策の「選択と集中」や行財政改革を一層強化し、安定した税財源の確保、基金の積立等を図り、強固な財政基盤の確立をめざします。

※資料：鳥取市



平成30年4月1日
鳥取市は中核市に
移行予定



まちづくりの目標と取り組む政策・施策

将来像の実現に向けて、5つの「まちづくりの目標」や「政策」、基本計画に掲げる「施策」、重点施策として取り組む「鳥取市創生総合戦略」を総合的、一体的に推進します。

①安心して出産・子育てができ、すべてのひとが住みやすいまち

☆政策1 豊かな心をもった、たくましいひとづくり

☆政策2 安心して子どもを産み育てられるまちづくり

☆政策3 住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり

☆政策4 互いの人権を尊重する心豊かな社会づくり

こんなコトに取り組みます！

- 生涯学習の推進
- スポーツ・レクリエーションの振興
- 健康づくり、疾病予防の推進
- 障がいのある人の自立支援
- 人権擁護の推進と人権意識の醸成
- 教育の充実・郷土愛の醸成
- 結婚・出産・子育て支援
- 地域包括ケアの推進
- 安心できる社会保障制度の運営
- 男女共同参画社会の形成



グローバル化に対応した英語教育



保育園における子育てサービス

②新しいにぎわいのあるまち

☆政策1 地域経済の再生と産業の底上げ

☆政策2 地域資源を生かしたまちづくり

こんなコトに取り組みます！

- 雇用の創造・人材の確保
- 商業・サービス業の振興
- 滞在型観光の推進
- 工業の振興
- 農林水産業の振興
- シティセールスの推進



エネルギーの地産地消（超小型モビリティ）



関西情報発信拠点「ととりのまんま」

③地域に活気があるまち

☆政策1 協働のまちづくり

☆政策2 交流の拠点となるまちづくり

☆政策3 魅力ある鳥取文化づくり

こんなコトに取り組みます！

- 協働のまちづくりの推進
- 魅力ある中山間地域の振興
- 世界に開かれたまちづくり
- 文化財の整備・保存・活用
- ふるさと・いなか回帰（移住定住）の促進
- 中心市街地の活性化
- 文化芸術の振興



リノベーションスクール



とっとりふるさと元気塾

④安全・安心なまち

☆政策1 暮らしの安全を守るまちづくり

☆政策2 快適でゆとりある生活環境づくり

こんなコトに取り組みます！

- 地域防災力の向上
- 安全な消費生活の確保
- 公共交通の確保
- 環境保全活動の推進
- 防犯・交通安全対策の充実
- 生活基盤の充実
- 循環型社会の形成



自主防災会研修会



高速道路ネットワークの整備

⑤まちづくりを支える自立した自治体経営

こんなコトに取り組みます！

- 方針1 中核市移行等による地方分権の推進と開かれた市政の運営
- 方針3 情報通信技術・ビッグデータの活用
- 方針5 ファシリティマネジメントの推進

- 方針2 自治体間の広域的な連携の推進
- 方針4 財政基盤の強化



重点施策一鳥取市創生総合戦略

戦略期間：平成27年度～31年度 5年間

人口減少の抑制に向け、若者の定住や雇用・就業環境の確保、まちのにぎわいづくりといった課題の克服や「鳥取市らしさ」を生かしたまちづくりを強力に推進するために策定した「鳥取市創生総合戦略」を本計画の重点施策に位置づけ、地方創生の時代の中で「ひとづくり」を中心に、「しごとづくり」、「まちづくり」を総合的、一体的に推進します。

1 次世代の鳥取市を担う 'ひとづくり'

基本目標

☆合計特殊出生率
→平成32年(2020年)：1.8
平成42年(2030年)：2.07

- ①教育の充実・郷土愛の醸成
- 郷土愛を育む教育の推進
 - 次世代を見据えた特色ある教育の推進

- ②結婚・出産・子育て支援
- 新たな出会いの創出と結婚支援
 - 妊娠・出産への包括的支援
 - 待機児童ゼロの継続と子育てサービスの充実
 - 仕事と生活の調和の推進



山陰海岸ジオパーク学習会



6か月健診

2 誰もが活躍できる 'しごとづくり'

基本目標

☆正規雇用創造目標数5,000人以上
☆企業誘致数(補助事業指定企業件数)75件以上

- ①地域経済の再生と産業の底上げ
- 成長産業の振興
 - 工業の振興
 - 商業・サービス業等の振興
 - 農林水産業の振興

- ②人材の確保と育成強化
- 人材育成・確保の推進
 - 新規創業・就農等の充実



企業誘致の推進
(企業進出に伴う協定書調印式)



とっとりふるさと就農舎による
新規就農支援

3 にぎわいにあふれ安心して暮らせる 'まちづくり'

基本目標

☆移住定住者数1,100世帯2,000人以上
☆鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺の観光入込客数320万人
☆平成30年4月、中核市への移行

- ①ふるさと・いなか回帰(移住定住)の促進
- 人材誘致・ふるさと回帰の充実
 - 田舎暮らし環境の充実

- ②交流人口の拡大
- 滞在型観光の推進
 - 文化芸術を生かしたまちづくりの推進
 - 知名度アップ大作戦の積極展開

- ③住み良い環境づくり
- 健康寿命の延伸につながる住み良い暮らしの実現
 - 多極ネットワーク型のコンパクトなまちづくりの推進
 - 魅力ある中山間地域の振興
 - 中心市街地の活性化
 - 利便性の高い公共交通の確保
 - 広域連携・自治体間連携の推進



移住定住相談会



鳥取因幡Gバス
ツアー



移動販売車による買い物支援

鳥取市総合計画についてのお問い合わせ先：鳥取市企画推進部政策企画課（鳥取市役所本庁舎3階）
〒680-8571 鳥取市尚徳町116 TEL0857-20-3153/e-mail:kikaku@city.tottori.lg.jp
詳細は、ホームページでご覧いただけます URL: <http://www.city.tottori.lg.jp/>

市外転出および市内転居にかかるアンケート調査 実施要領(案)

1 目的、趣旨

鳥取市から転出および市内転居される方を対象に、その理由等についてアンケート調査を実施することにより、現状や傾向を把握し、人口減少の抑止や今後の移住・定住促進の取組への参考とする。

2 調査実施期間(予定)

平成28年6月1日(水)から9月30日(金)まで

3 実施対象者

鳥取市市民課等に來られた鳥取市から転出および市内転居される方

4 調査内容(詳細は別紙アンケートのとおり)

- (1) 転出・居元および先
- (2) 異動の時期
- (3) 異動する家族構成
- (4) 異動者の年代
- (5) 異動の理由
- (6) 住みよい鳥取市のための条件

5 実施方法

- (1) 鳥取市外転出および市内転居の手続き者を市民課(支所市民福祉課)窓口で確認。
- (2) 市民課職員から、アンケート調査の目的について説明。
- (3) 協力を得られた方にアンケートを渡し、回収箱に投函いただく。
- (4) 実施期間終了後、地域振興局地域振興課および各総合支所市民福祉課において回収・集計。

6 実施場所(アンケート用紙・回収箱設置場所)

- (1) 市民課(駅南庁舎)
- (2) 市民課(本庁舎証明コーナー)
- (3) 各総合支所市民福祉課

7 スケジュール

- 5月中 庁内での検討
各地域振興会議で協議
- 6月1日 調査開始

8 その他

- (1) アンケートは毎月初旬に前月分を回収する。
- (2) 調査終了後、分析結果については地域振興会議などに報告するとともに、人口減少の抑止や今後の移住・定住促進の取組への参考とする。
- (3) 平成25年11月から取り組んでいる転入者対象のアンケートは引き続き実施する。

転出
市内転居

市外へ転出・市内転居されるみなさまへ
～アンケート調査のお願い～

(案)

鳥取市では、多くの方に住みよいと感じていただける地域とするため、市外へ転出および市内転居される方を対象にアンケート調査を実施しています。趣旨をご理解いただき、ご協力をよろしくお願い致します。
※他の目的に使用することは一切ありません。

1. あてはまるところにご記入ください。

どこから

鳥取市内 (チェックをおつけください)

鳥取 国府 福部 河原 用瀬 佐治 気高 鹿野 青谷 地域

どこへ

鳥取市内 (チェックをおつけください)

鳥取 国府 福部 河原 用瀬 佐治 気高 鹿野 青谷 地域

鳥取県内

県外

市・町・村

都・道・府・県

2. 転出・市内転居の時期をご記入ください。

平成 年 月

3. 転出・市内転居される方の家族構成について、あてはまるものにチェックをおつけください。

単身 夫婦 夫婦と子 夫婦と親と子 その他 ()

4. 転出・市内転居される方の年代について、あてはまるものにチェックをおつけください。
(世帯で異動される場合は、全員についてあてはまるものすべてにチェックをおつけください)

10代未満 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代 90代以上

5. 転出・市内転居される主な理由について、最も近いもの1つにチェックをおつけください。

大学等への進学 就職 転勤 起業 子育て 結婚 介護 田舎暮らし
農林水産業従事 退職等による帰郷 通勤距離の短縮化 周辺住民との関係性
高齢化による同居 施設等への入所 公共交通機関の不足 病院・商店等の不足
その他 ()

6. あなたが考える、「住みよい鳥取市」のための条件について、あてはまるものに3つまでチェックをおつけください。

自然が豊か 災害が少ない 働く場所がある 子育て環境の充実 (具体的に)
行政支援の充実 (具体的に) 商業施設の充実 (具体的に)
市民参加型イベント (祭り等) の充実 その他 ()

ご協力ありがとうございました。
【アンケート用紙は備え付けの回収箱に入れてください。】

お問い合わせ先：鳥取市企画推進部地域振興局地域振興課

◆実施中の“転入者対象”アンケートです。

市外から転入された皆様へ
～アンケート調査のお願い～

ようこそ鳥取市へいらっしゃいました。

鳥取市では、多くの皆様に移住定住していただけるような地域にするため、市外から転入された方を対象にアンケート調査をお願いしています。

ご協力をよろしくお願いいたします。（他の目的で使用することは一切ありません。）

1. いつ転入されましたか？

_____年 _____月

2. 何人で転入されましたか？

_____人

3. 世帯主（代表になる方）の方の年代は？

10代以下・20代・30代・40代
50代・60代・70代・80代以上

4. 一緒に転入された方は？

本人のみ・配偶者・子・父・母・兄弟姉妹
その他（_____）

5. どちらからいらっしゃいましたか？

_____都道府県

6. 以前、鳥取市に住んでいたことがありますか？

ある ・ ない

7. どの地域に住まわれますか？

鳥取地域・国府地域・福部地域・河原地域・用瀬地域・佐治地域・気高地域・鹿野地域・青谷地域

8. 転入された主な理由は何ですか？（最も近いものに1つだけ○印を）

大学等への進学 ・ 農林水産業 ・ 就職または転勤（前任者あり） ・ 転勤（前任者なし）
起業 ・ 子育て ・ 結婚 ・ 介護 ・ 田舎暮らし ・ 退職または離職による帰郷
卒業による帰郷 ・ 出産に伴う一時的な帰郷 ・ その他（_____）

9. 鳥取市を選んだ理由は何ですか？（2つまで○印を）

自然が豊か ・ 災害が少ない ・ 働く場所がある ・ 子育て環境が整っている
行政の支援が充実している ・ 移住相談窓口の対応がよかった ・ 実家がある
知り合いがいる ・ その他（_____）

10. 移住定住に関する行政の支援窓口又は支援施策を利用されましたか？

利用した（予定を含む） ・ 利用していない ・ 知らない

→利用された場合（予定を含む）、良いと思われるものを教えてください。（3つまで○印を）

相談窓口（鳥取市 ・ 鳥取県移住定住サポートセンター ・ 同大阪相談窓口 ・ 同東京相談窓口）
相談会 ・ いなか暮らしセミナー ・ 体験ツアー ・ お試し住宅

住宅支援制度（名称又は内容：_____）

子育て支援制度（名称又は内容：_____）

就業・起業・就農支援制度（名称又は内容：_____）

その他（_____）

ご協力ありがとうございました。

【アンケート用紙は備え付けの回収箱に入れてください。】

青谷高等学校のあり方を考える協議会による西地域の中学校等への説明

平成 28 年 4 月 22 日（金） 青谷小学校 PTA 総会
参加者 山本支所長、高橋委員、武田副支所長



平成 28 年 4 月 23 日（土） 気高中学校 PTA 総会
参加者 鈴木支所長、安岡委員、武田副支所長



平成 28 年 4 月 23 日 (土) 鹿野中学校 PTA 総会
参加者 徳岡支所長、奥谷委員、安岡委員、武田副支所長



平成 28 年 4 月 29 日 (金) 青谷中学校 PTA 総会
参加者 山本支所長、倉恒委員、武田副支所長

